



日本のまんなか
水と緑といで湯の街渋川市

平成 30 年 10 月第 2 回市長定例記者会見

- ・日時 平成 30 年 10 月 9 日 (火)
午後 1 時
- ・場所 市役所本庁舎第 2 応接会議室

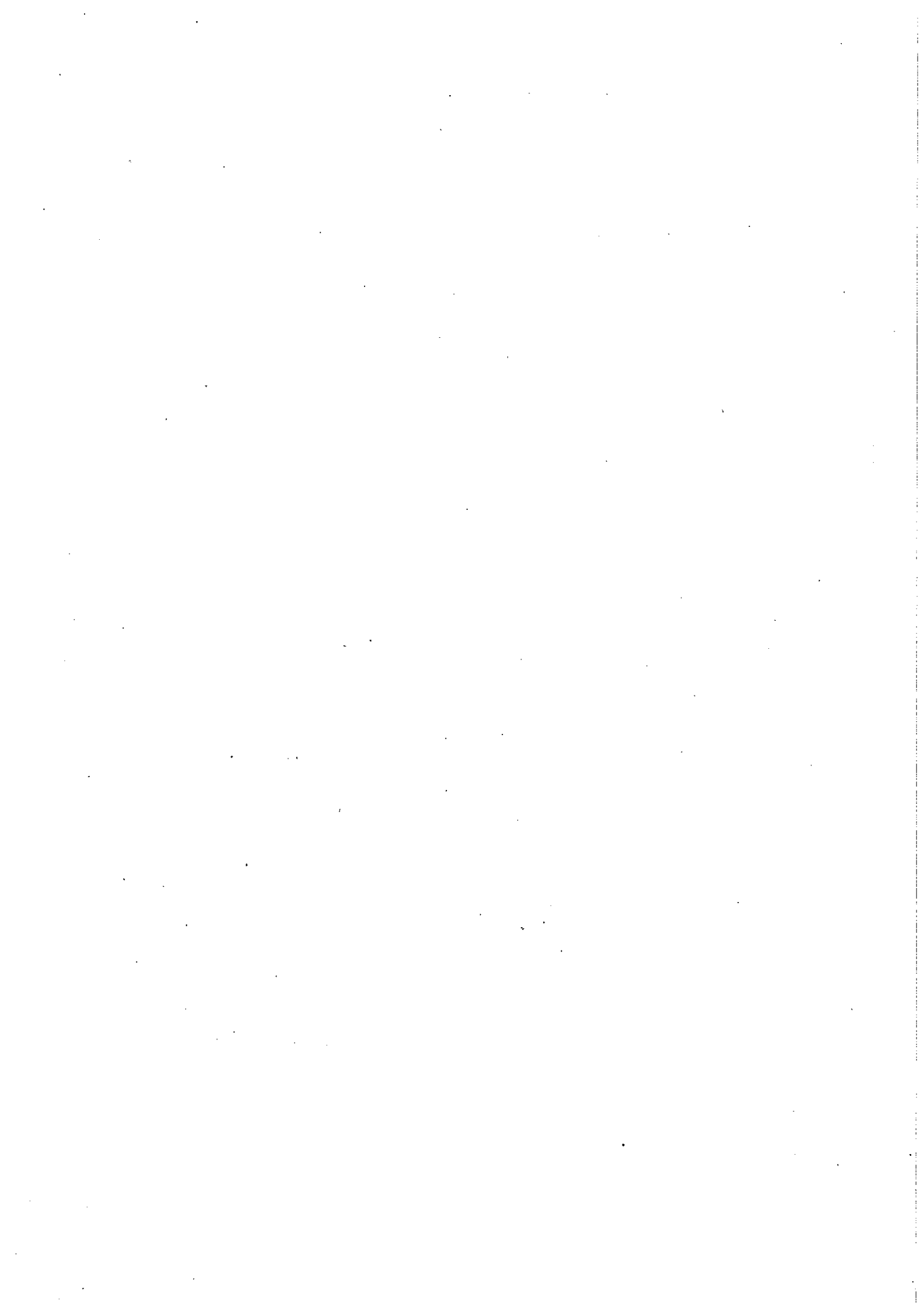
- 1 高金利市債の繰上償還について (資料 1)
- 2 「渋川伊香保温泉トレイルラン 2018」の開催について (資料 2)
- 3 上三原田の歌舞伎舞台舞台公演等の開催について (資料 3)
- 4 渋川市重要文化財の追加指定について (資料 4)
- 5 平成 30 年度作家講演会の実施について (資料 5)

その他資料提供

- ・平成 30 年度渋川市平和推進啓発作文・ポスターコンクール表彰式及び平和講演会の開催について (資料 6)
- ・認知症サポーターステップアップ講座の開催について (資料 7)

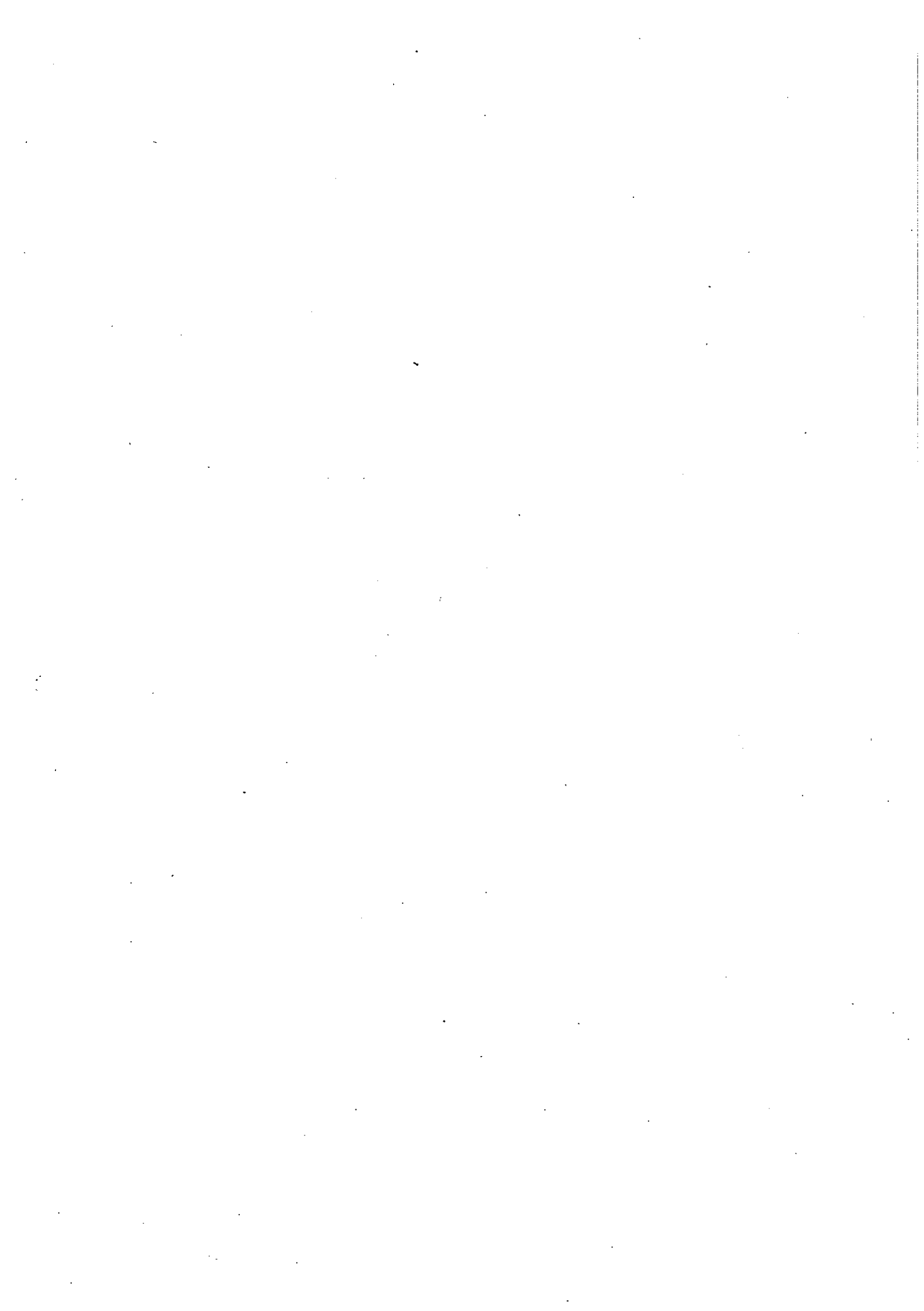
○次回開催予定

日時：平成 30 年 10 月 15 日 (月) 午後 1 時～
場所：本庁舎第 2 応接会議室



市長の主な週間日程

月 日	時間	件 名	場 所	所 管
10月9日(火)	9:00	庁議	第1応接会議室	秘書課
	11:30	渋川広域組合決算審査意見書提出	市長応接室	広域組合
	13:00	定例記者会見	第2応接会議室	新政策課
	13:30	広域組合管理者・副管理者会議	広域組合大会議室	広域組合
	19:00	渋川山車まつり反省会	中央公民館	観光課
10月10日(水)	10:00	ハッ場ダム及び上信自動車道 現地視察	ハッ場ダム、上信自動車道工事現場	土木管理課・議会事務局
	18:00	群馬県市長会研修	新潟県長岡市内	秘書課
10月11日(木)				
	16:00	第56回渋川広域圏内発明くふう展表彰式	中央公民館	商工振興課
10月12日(金)				
10月13日(土)	8:30	都市親善体育大会秋季大会(ソフトテニス)	総合公園	職員課
	10:00	子持地区敬老大会	子持社会体育館	高齢福祉課
	13:30	全国地域安全運動渋川・北群馬地区大会	吉岡町文化センター	市民協働推進課
10月14日(日)	8:00	渋川伊香保温泉トレイルラン2018開会式・表彰式	総合公園自由広場	スポーツ課
10月15日(月)	9:00	庁議	第1応接会議室	秘書課
	13:00	定例記者会見	第2応接会議室	新政策課



資料1

担当：総務部財政課 課長 角田義孝 電話0279-22-2414 内線2150

件名：高金利市債の繰上償還について

1 目的

より健全で安定した財政基盤の確立を図るため、減債基金を活用し、一定の条件で市債の一部を繰上償還しました。これにより、市債残高を大幅に縮減するとともに多額の未償還利子を削減しました（平成30年5月25日）。

また、平成27年度末で病院事業を廃止したことに伴い、将来負担の公平性を確保するため、病院事業債のすべてを繰上償還しました（平成30年9月20日）。

2 対象

- (1) 借入利率が1.0パーセント以上の銀行等引受債
43件 14億9,132万円（元金）
- (2) 病院事業債
6件 7億902万円（元金）

3 繰上償還額（元金）

22億34万円

《参考》

借入先	利率(%)	償還額(万円)	最近の利率(%)
市中銀行等	1.00~2.21	149,312	0.49~0.60 (H30.5実績)
財務省	1.20~2.10	47,804	0.01~0.60 (H30.9)
地方公共団体金融機構	1.90~2.10	22,918	0.01~0.70 (H30.9)
計		220,034	

4 利子削減効果額 9,797万円

5 市債残高

【繰上償還前】

- ・平成29年度末 385億9,714万円
- ・市民1人当たり 49万円
(県内12市中、12番目 ※最も多い)

【繰上償還後】

- ・平成30年度末見込み 357億752万円
- ・市民1人当たり見込み 46万円
(県内12市中、10番目)

資料2

担当：総合政策部スポーツ課振興係 藤井隆 電話0279-22-2241 内線2424

件名：「渋川伊香保温泉トレイルラン2018」の開催について

1 趣 旨

渋川市特有の資源を存分に活用できるスポーツイベントとして、伊香保温泉周辺をコースとするトレイルラン大会を開催します。

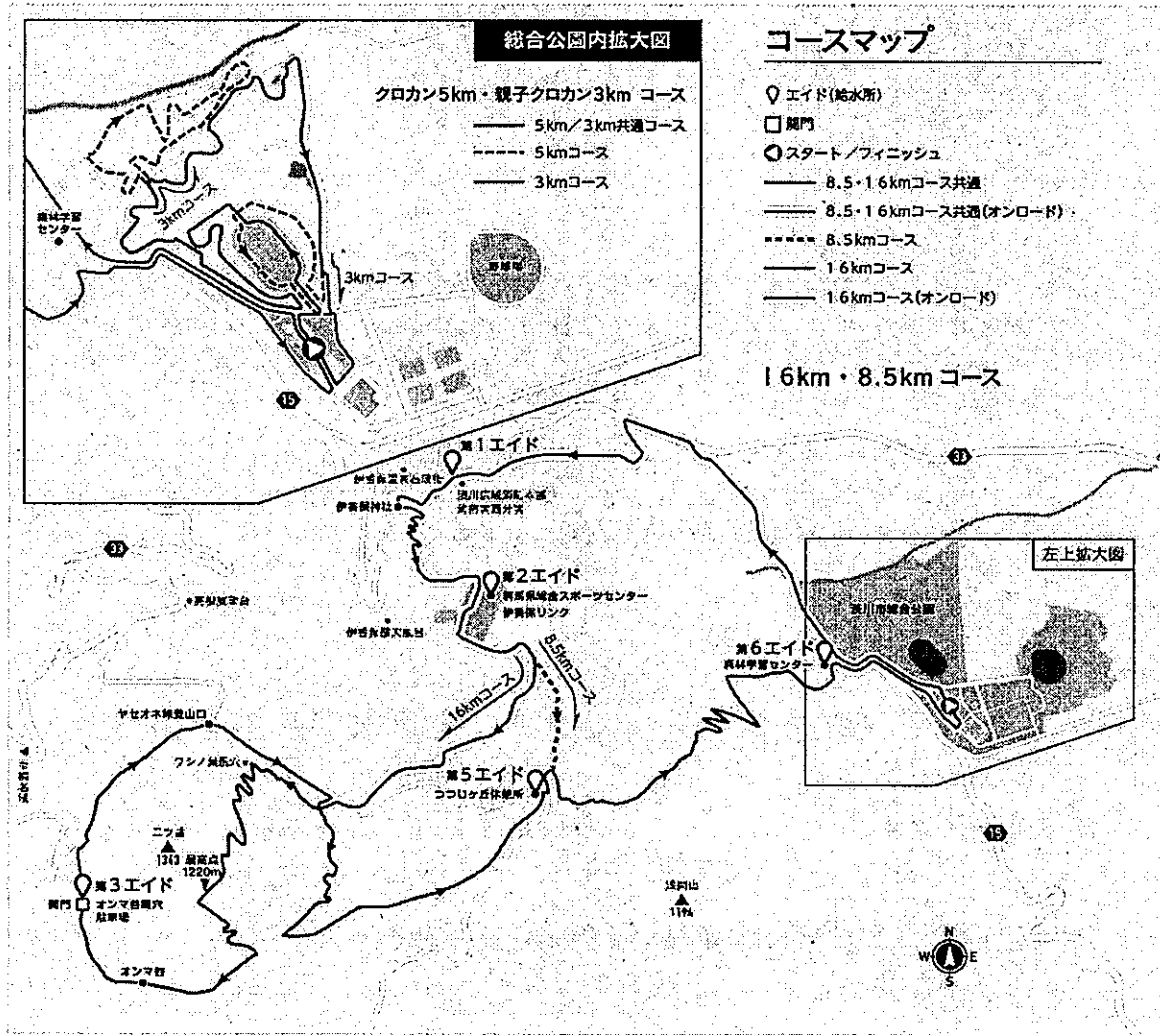
この大会では、渋川市総合公園を発着点に、伊香保温泉石段街の一部や伊香保神社などの観光名所のほか、榛名山の麓に広がる県立伊香保森林公園を通過します。観光地と自然の両方を楽しめるランニングイベントとして、全ての参加者に楽しんでいただける大会を目指します。

2 事業概要

- | | |
|--------------|---|
| (1) 大会名 | 渋川伊香保温泉トレイルラン2018 |
| (2) 開催日時 | 平成30年10月14日(日) 雨天決行(※)
開会式8:20～ / 競技9:00～14:00
※地震、災害、悪天候等の場合は、中止とすることがあります。 |
| (3) 会場 | 渋川市総合公園、県立伊香保森林公園ほか |
| (4) 種目・定員 | 16km (400人)：一般(18歳以上)男女 ※高校生不可
8.5km (200人)：高校生以上男女
クロスカントリー5km (100人)：中学生以上男女
親子クロスカントリー3km (25組50人) |
| (5) コース | 渋川伊香保温泉トレイルラン2018コースマップ |
| (6) 主催
共催 | 渋川伊香保温泉トレイルラン実行委員会
渋川市、渋川市教育委員会、渋川市スポーツ協会 |
| (7) 参加料 | 16km (5,000円)
8.5km (高校生3,500円／一般4,000円)
クロスカントリー5km (中学生2,000円／高校生2,500円／一般3,000円)
親子クロスカントリー3km (3,500円) |
| (8) 申込方法 | インターネット(マラソン等申込専用サイト：ランネット)及び電話申込(専用回線を設置)にて6月20日(水)から8月31日(金)の間申込受付を実施。 |
| (9) エントリー結果 | 16km (定員400人) 428人
8.5km (定員200人) 169人
クロスカントリー5km (定員100人) 22人
親子クロスカントリー3km (定員25組) 20組
合計659人エントリー |

3 その他

- (1) 大会参加者全員に、参加記念品を配布します。
- (2) 給水所では、地元特産物を提供するほか、フィニッシュ地点では完走者全員に焼きまんじゅうを提供します。
- (3) 受付や給水所、コース案内係などの運営はボランティアを中心に(合計200名程度)ご協力をいただき大会を運営します。
- (4) 大会の実施に伴い渋川総合運動公園から伊香保温泉街の一部が午前8時25分から午前10時の間交通規制されます。
[渋川伊香保温泉トレイルラン2018交通規制のお知らせ]



資料3

担当：教育部文化財保護課 課長 島田志野 電話0279-52-2102

件名：上三原田の歌舞伎舞台舞台公演等の開催について

1 上三原田の歌舞伎舞台2018

(1) 事業概要

国指定重要有形民俗文化財「上三原田の歌舞伎舞台」の舞台操作は、国から「記録等の措置を講ずべき無形の民俗文化財」にも選択され、現在でも舞台に備えられた全ての機構が人力で操作されており、上三原田自治会に組織された上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会が継承しています。舞台操作の伝承及び上三原田の歌舞伎舞台の一層の活用を図るため、同伝承委員会による舞台操作を公開します。

また、この機会を活かし、地元三原田小学校の歌舞伎クラブによる歌舞伎公演を行います。合わせて、三原田小学校4年生から6年生で構成される金管クラブの演奏を発表します。

- (2) 日 時 平成30年11月25日（日）午前10時から
- (3) 会 場 上三原田の歌舞伎舞台（渋川市赤城町上三原田269番地1）
- (4) 内 容 別添チラシのとおり
- (5) 観覧料 無料
- (6) 申込み 不要
- (7) その他 小雨決行（荒天の場合は関係者の判断により中止）
駐車場は三原田小学校校庭

2 上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭イベント

① 上三原田の歌舞伎舞台映像上映@浅草

(1) 事業概要

上三原田の歌舞伎舞台は、文政2年（1819）に地元出身の水車大工永井長治郎翁によって建造されました。

平成31年に創建200年を迎えることから、平成31年11月2日・3日に「上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭」を計画し、現在、準備委員会を設置し開催に向けた検討を進めています。

上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会が継承してきた舞台機構操作や観客席設営・小屋掛け技術を広く周知し、創建200年祭に向けた情報発信を図るため、本年「上三原田の歌舞伎舞台映像上映@浅草」と、下記②「上三原田の歌舞伎舞台2018前夜祭」を行います。

なお、両事業は、群馬県文化振興課所管の「平成30年度魅せる群馬の文化応援事業補助金」の交付を受け実施します。

「上三原田の歌舞伎舞台映像上映@浅草」は、歌舞伎を中心とした伝統文化を発信する代表的な地である浅草において、上三原田歌舞伎舞台の魅力、操

作伝承委員会の皆さん自らが語ります。また、映画監督である野田香里氏（群馬県文化財審議委員）が、舞台操作や小屋掛けを現地取材した映像、小中学校での舞台を紹介する映像等を編集し、解説とともに上映するものです。

- (2) 日 時 平成30年11月4日（日）午後5時から
- (3) 会 場 東京都台東区立浅草公会堂
- (4) 観覧料 無料
- (5) 申込み 必要 文化財保護課52-2102まで
ツアーの予定はありません。

② 上三原田の歌舞伎舞台2018前夜祭

(1) 事業概要

「上三原田の歌舞伎舞台2018前夜祭」は、翌日に開催する「上三原田の歌舞伎舞台2018」に先立ち、舞台機構の点検及び操作訓練を公開するものです。舞台操作は公演当日にも披露されますが、この日は本番に向けた操作伝承委員会の熱のこもった操作訓練を見ることができます。

また、小規模ながら観客席や、舞台装置の一部である花道や下座を設置し、舞台上では映像上映（@浅草と同様の映像）も行いますので、舞台機構を知る絶好の機会となります。

- (2) 日 時 平成30年11月24日（土）午後3時から
- (3) 会 場 上三原田の歌舞伎舞台（渋川市赤城町上三原田269番地1）
- (4) 観覧料 無料
- (5) 申込み 不要
- (6) その他 小雨決行（荒天の場合は関係者の判断により中止）
駐車場は三原田小学校校庭

参考

国指定重要有形民俗文化財「上三原田の歌舞伎舞台」

上三原田の歌舞伎舞台は、文政2年（1819）に建造された農村歌舞伎舞台で、平成31年に建造から200年を迎えます。

この舞台には、「ガンドウ返し」「回転舞台」「二重セリ」「遠見機構」など、江戸時代の歌舞伎円熟期のカラクリを今に残し、全国的にも例を見ない機構を備えた農村歌舞伎舞台とされています。

この舞台の操作は、昔から上三原田地区の人たちが伝承してきた技術で、舞台機構を操作するには、天井裏・奈落・平舞台に配置された80人もの人たちが、拍子木の音により息を合わせて操作します。また、観客席である高棧敷や枡席、さらにこれを覆う屋根の設営や小屋掛けも継承し、平成13の「国民文化祭ぐんま2001農村歌舞伎inあかぎ」や平成19年の「全国地芝居サミットinぐんま・渋川」ではその技術を駆使し、東西25.2m・南北17.5mに及ぶ芝居小屋を設営しました。平成31年の「上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭」でも、壮大な芝居小屋を設営する計画です。

平成30年11月25日（日）

上三原田の歌舞伎舞台2018

スケジュール

10:00	開会式 挨拶	上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会委員長 上三原田自治会長
	祝辞	渋川市長 渋川市議会議長
10:30	舞台操作	上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会
11:30	発表	演奏 三原田小学校金管クラブ
11:45	発表	歌舞伎 三原田小学校歌舞伎クラブ 白浪五人男 稲瀬川勢揃いの場
12:15	記念撮影	
12:30	閉会式 挨拶	渋川市教育委員会教育長

紹介

○上三原田の歌舞伎舞台

文政2年（1819）、地元の水車大工である永井長治郎が建立し、現在地には明治15年（1882）に移築されました。

柱立式廻転機構・ガンドウ返し・二重セリ・遠見など、江戸時代の歌舞伎円熟期のカラクリを残す、全国でも例を見ない特殊機構を備える貴重な遺産として、昭和35年に国の重要有形民俗文化財に指定されました。

○上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会

この舞台の操作は、昔から上三原田地区の人たちが伝承してきました。舞台機構を動かすため、屋根裏・奈落・舞台上で80人もの人たちが息を合わせて操作します。上三原田自治会は、この技術の後世に残すべく歌舞伎舞台操作伝承委員会を結成し、舞台操作だけでなく、舞台の保存や普及啓発にも尽力しています。

○三原田小学校歌舞伎クラブ

三原田小学校歌舞伎クラブは、平成25年にクラブ活動として立ち上げられ、以来この舞台で歌舞伎を演じています。児童たちは少ない時間の中で懸命に練習を重ねてきました。

○三原田小学校金管クラブ

三原田小学校金管クラブは、いろいろな演奏会や学校の卒業式で演奏したり、運動会ではマーチングを披露しています。今回は4年生から6年生48名で演奏します。歌舞伎舞台での金管楽器の演奏は初めての試みになります。

三原田小学校発表紹介

金管演奏

三原田小学校金管クラブ

紹介 4年生から6年生までの総勢48名のメンバーがいます。
木曜日の放課後を中心に、毎日の昼休みの時間も利用して一生懸命練習しています。

楽器は、トランペット、コルネット、アルトホルン、トロンボーン、ユーフォニウム、チューバ、パーカッションを演奏します。

いろいろな演奏会に出場したり、学校の始業式や卒業式の校歌の伴奏をしたり、運動会でマーチングを披露したりと活躍しています。

演奏曲 マーチングドリーム
銀河鉄道999
三原田小学校校歌

歌舞伎

三原田小学校歌舞伎クラブ

演目 白浪五人男 稲瀬川勢揃いの場
青砥稿花紅彩画（あおとぞうしはなのにしきえ）四幕目

あらすじ

白浪五人男とは、江戸時代末に河竹黙阿弥の書き下ろした白浪狂言（盗賊を主人公にした芝居）です。

その四幕目の稲瀬川勢揃いの場は、日本駄右衛門を首領とする、弁天小僧菊之助、忠信利平、赤星十三郎、南郷力丸の五人が、義賊となり世のため人のために働こうとした矢先、計略により捕りに迫られ、鎌倉の稲瀬川土手まで逃げ、勢揃いする場面です。

五人男が語る七五調の口上、見得、そして捕り手との立ち回りが見所です。

配役

日本駄右衛門	須川慎斗（6年生）
弁天小僧菊之助	萩原咲奈（6年生）
忠信利平	速水翔夢（6年生）
赤星十三郎	木暮愛実（6年生）
南郷力丸	柴崎ももか（6年生）
捕手	田島大飛（5年生）、津久井譲（5年生） 樺澤琴羽（5年生）、狩野和心（4年生） 南雲来羽（4年生）
口上	津久井譲（5年生）
後見	市川鏡十郎社中
指導	藤川 栄

「上三原田の歌舞伎舞台2018」

実 施 要 項

1 目 的

文化財保護法第1条には「文化財を保存し、且つ、その活用を図り、もって国民の文化的向上に資するとともに、世界文化の進捗に貢献すること」と規定されています。上三原田の歌舞伎舞台は、重要有形民俗文化財に指定されていますが、上記条文のとおり、活用（歌舞伎公演）を図りながら建造物として適正に保護していくことが本来の姿と言えます。

文化財建造物の活用は、本来的な機能や用途を適切に維持することで文化財に対する理解を深め、また、資産としての今日的存在意義を新たに見出すことは、保存の意欲を高めたり、継続的な維持管理を保証することになり、保存のための前提条件を整えることとなります。

上三原田の歌舞伎舞台の地元にある三原田小学校では、歌舞伎クラブを発足して地域の文化財を通じ自己の確立へ繋がる教育をしており、また、上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会は、定期的な舞台操作を実施し、伝統文化の継承・文化財の保存活用を実践しています。

これらにより、教育委員会は地域文化の発信・文化財を資源とした地域づくりの実践、文化財の保護・管理と積極的な活用を図るため、この事業を関係団体と協働で実施するものです。

2 開催日程

平成30年11月25日（日）

3 主 催

上三原田歌舞伎舞台操作伝承委員会
上三原田自治会
澁川市教育委員会

4 内 容

別添次第（案）のとおり

5 開催場所

澁川市赤城町上三原田269-1（上三原田の歌舞伎舞台）

「上三原田の歌舞伎舞台映像上映@浅草」
「上三原田の歌舞伎舞台2018前夜祭」

実 施 要 項

1 目 的

上三原田の歌舞伎舞台は、平成31年に建造から200年を迎えますので、「上三原田の歌舞伎舞台創建200年祭」の開催を計画し、本年、準備委員会を設置し、開催に向けた検討を進めています。

現在まで、歌舞伎舞台操作伝承委員会が継承してきた機構操作や舞台観客席設営・小屋掛け技術等を広く周知し、創建200年祭開催の情報発信を図っていくことが必要と考えますので、創建200年祭イベントとして、「上三原田の歌舞伎舞台映像上映@浅草」と「上三原田の歌舞伎舞台2018前夜祭」を企画しました。

なお、この2事業につきましては、群馬県文化振興課所管の「平成30年度魅せる群馬の文化応援事業補助金」の交付を受け実施します。

2 内 容

上三原田の歌舞伎舞台映像上映@浅草

日時：平成30年11月4日（日）午後5時～9時

会場：東京都台東区立浅草公会堂

概要：歌舞伎を中心とした伝統文化を発信する代表的な地である浅草において、近代劇場にも劣らぬ機構を有する上三原田の歌舞伎舞台の魅力を、歌舞伎舞台の操作に携わる操作伝承委員会の皆さんとともに紹介しようとするものです。

また、映画監督である野田香里氏（群馬県文化財審議委員、準備委員会委員）が、舞台操作や小屋掛けを現地取材した映像、小中学校授業での舞台を紹介する映像等を編集し、解説とともに上映します。

上三原田の歌舞伎舞台2018前夜祭

日時：平成30年11月24日（土）午後3時～5時

会場：上三原田の歌舞伎舞台

概要：11月25日に開催する「上三原田の歌舞伎舞台2018」に先立ち、機構点検・操作訓練を公開し解説します。舞台操作は公演当日にも披露されますが、この日は本番に向けた操作伝承委員会の熱のこもった操作訓練を見ることができます。

また、小規模ながら観客席や舞台装置の一部である花道や下座も設置し、舞台上に設置したスクリーンで映像も上映（@浅草と同様の映像）しますので、舞台機構を知る絶好の機会となります。

資料4

担当：教育部文化財保護課 課長 島田志野 電話0279-52-2102

件名：渋川市重要文化財の追加指定について

1 目的

渋川市に所在する「入澤家文書」の近世・近代文書について、渋川市重要文化財に追加指定することにより、地域の貴重な財産として後世に継承しようとするものです。

2 内容

「入澤家文書」は、中世期の文書4点が昭和54年4月24日付けで渋川市重要文化財に指定されています。今回、同じ個人宅に所蔵されている近世・近代の文書について、渋川市文化財調査委員会から指定相当として答申を受け、9月27日の定例教育委員会で議決されたことにより渋川市重要文化財に追加指定されました。

3 概要

- | | |
|-----------|-------------------|
| (1) 名称 | 入澤家文書 (いりさわけもんじょ) |
| (2) 員数 | 近世・近代文書一括 |
| (3) 所在地 | 渋川市渋川314番地 |
| (4) 指定年月日 | 平成30年9月27日 |

4 該当する指定基準

「渋川市文化財指定等の基準（平成18年12月5日）」

第1 渋川市指定重要文化財の指定基準

4 古文書の部

- (1) 渋川市の歴史上重要と認められるもの
- (4) 古文書類、日記、記録類等で歴史的又は系統的にまとまって伝存し、学術的価値の高いもの

入澤家文書（近世・近代文書）

1 概要

数量 1080点（平成30年9月13日時点）
年代 慶長18年（1613）～明治43年（1910）
所在地 渋川市渋川314番地

2 既存の指定について

名称 渋川市重要文化財 入澤家文書
（旧指定名称：旧入澤家住宅及び所蔵文書）

員数 4点

指定日 昭和54年4月24日
（平成30年2月16日、指定内容の変更）

内容 入澤家に伝存する中世期の文書

- ・信濃国退去の従者小池吉兵衛他12名書立 天文13年（1544）
- ・大戸心楽斎宛行状（渋川内八幡免ほか25貫文）年次不明
- ・武田家定書（巢山2・3・4の3カ月禁獵の事）天正9年（1581）
- ・北条氏直書状（改年の祝儀に感謝）年次不明

3 整理の経緯について

文書と合わせて指定されていた「旧入澤家住宅」が県の指定重要文化財に格上げされるのに伴い、入澤家文書の指定内容を再確認するよう平成29年2月24日の渋川市文化財調査委員会にて決定された。同年5月、所有者から、既指定の4点のほか、所蔵する古文書一式をお借りし、市文化財保護課の事務室にて整理及び目録作成を行った。古文書の中には、昭和58年に群馬県教育委員会が刊行した『群馬県近世史資料所在目録』にて調査済みの近世文書とともに、未調査のものも多数含まれていた。

4 入澤家の来歴

入澤家の系図によると、入澤氏は北条時頼の末流である。北条氏滅亡のとき、信州佐久郡入澤村に蟄居し、名字を入澤と改めた。その後、信州の豪族村上氏に従属したが、天文13年（1544）、入澤新八郎時吉の代に従者12名を連れて渋川に移住した。その際、移住地の地名を入澤とした。上州では吾妻郡大戸城主の大戸心楽斎に仕え、軍功と八幡宮への崇敬により、弘治3年（1557）に渋川村に二十五貫文と八幡宮の免地三貫八百文を宛行われた。天正10年には大戸氏が滅亡し、主君を失ったあと帰農して、多くの門屋を抱える豪農となった。宝暦期には本家に3軒と分家5家に1軒ずつ、合わせて8軒の門屋があった。入澤家は代々名主を務めたほか、無住であった如来寺に代わり八幡宮の世話をした時期もあり、明治に入ってから、入澤信廣氏（所有者の曾祖父）が八幡宮の神官になった。

5 文書の内容

整理の便宜上、『群馬県近世史資料所在目録 23 渋川市・伊香保町』（昭和 58 年、群馬県教育委員会発行）にて調査済みのものと未調査のものに分類した。

(1) 近世文書（ラベル貼付） 534 点

『群馬県近世史資料所在目録』にて調査されており、その際の番号ラベルが貼られている。

江戸初期から明治初期までの文書群で、名主を務めた家に伝来した村方文書とともに、奉公人の請状や土地・金銭に関する証書類などの入澤家の私的文書も多数含まれている。また、地元の如来寺及び八幡宮の管理や普請に関するものの点数も多い。

村政や村況に関するものは、検地帳の写し、年貢の割付状や皆済帳、領主に出した届出・証書類などがある。また、入澤家文書（近世・近代文書）の中で最も年代が古いものとして、慶長 18 年（1613）の「渋川町屋敷寄せ帳」の写しがあり、慶長年間に行われた町割りの様子を知ることができる。

農業や産業については、水車や四季打ち鉄砲に関するもののほか、渋川村大崎にあった築についての文書が残っており、築の開設に伴う中村との境界争いや、築持ちと名主との間に起きた諍いの様子などが分かる。

入澤家の家計に関するものとして、奉公人の請状、小作証文、質地証文、土地や金銭の譲渡・借用に関するもののほか、頼母子講に関する文書がある。また、正徳期に石原村で起きた門屋解放訴訟の際、代官が地親に作らせた門屋の作法の書上がある。

信仰に関するものは、かつて元町にあった如来寺と八幡宮に関するものが多い。「八幡宮当山所持之由来」は、元々如来寺の管理していた八幡宮が時代を経る中で入澤氏の所持とされた由来について記されている。明治 6 年（1873）の文書では、如来寺から八幡宮へ行っていた祈祷が神仏分離令により行われなくなった様子が分かる。また、当時の渋川村内の社寺について知ることができる資料として、明治 3 年の「社堂調書上徴」がある。このほかに、元禄 10 年（1697）に入澤本家に生まれ、晩年になり仏像を千体以上彫刻した次五右衛門保喜が残した地藏堂の勧進帳がある。

絵図は、「卯七月八日我妻川通大変之絵図」の 1 点だけあり、天明 3 年の浅間山噴火の様態を伝える文章とともに、被害にあった家及び人馬の数が記されている。

(2) 近世～近代文書（ラベル無し） 546 点

『群馬県近世史資料所在目録』のラベルが添付されていないもの。

ラベル貼付文書と同様、近世の名主文書及び私的文書が大部分であり、一部近代のものもある。年代は元禄期頃から明治期までである。

近世のものの中には、年貢関係（割付状、取立帳、勘定帳）や訴訟関係（濟口証文）、引取手形、鉄砲証文、質地証文や金子証文のほか、築に関するもの、如来寺及び八幡宮に関するもの等が見られる。

近代のものは数量が少なく、入澤家の私的文書の類が主である。この中には、西群馬・片岡両郡連合町村会の議員を務めた入澤信廣氏が明治 16 年（1883）に選挙で選ばれたときの当選状がある。

ラベル無し文書は断簡のものが多数であるが、この中のいくらかは、ラベル貼付文書からばらけて断簡になった可能性がある。当初別々の番号を付していた文書同士が、整理を進める中で同一のものであると分かった場合には、一方の番号へと統一し、もう一方は点数から除いた。今後も精査を行うことで、さらに一致するものが見つかり、総点数が減る可能性がある。

6 指定理由

当文書群は、江戸初期から明治期にかけて、渋川村及び近隣の村の様子が分かる史料が時代を通じてまとまって残されている。内容も多岐にわたり、点数も 1000 点ほどと豊富にある。渋川の歴史を研究する上で、市内有数の貴重な文書群である。

【指定基準】

「渋川市文化財指定等の基準」の以下の号に該当する。

第 1 渋川市指定重要文化財の指定基準

4 古文書の部

(1) 渋川市の歴史上重要と認められるもの

(4) 古文書類、日記、記録類等で歴史的系統的にまとまって伝存し、学術的価値の高いもの

参考資料

- ・『渋川市誌 第 2 巻 通史編・上 原始～近世』（平成 5 年、渋川市）
- ・『渋川市誌 第 3 巻 通史編・下 近代・現代』（平成 3 年、渋川市）
- ・『渋川市誌 第 5 巻 歴史資料編』（平成元年、渋川市）
- ・『渋川市の文化財』（昭和 61 年、渋川市教育委員会）
- ・「落武者入沢本家の家歴と旧母屋について」（作成年不明、上毛古建築研究所・入澤本家旧母屋保存会）

資料5

担当：教育部渋川市立図書館 館長 佐藤多恵子 電話0279-22-0644（直通）

件名：平成30年度作家講演会の実施について

1 内 容

渋川市立図書館では、第二次渋川市子ども読書活動推進計画の一環として、子どもたちに図書館の存在を身近に感じてもらうために、下記日程で作家講演会を実施します。

今年度の講師は、絵本作家の鈴木のりたけさんです。「おもしろがると せかいがひろがる」というタイトルで、代表作「しごとば」シリーズがどのように作られたのか、ご本人が子どもたちにもわかりやすく説明していただきます。のりたけさんの指導による、子ども向けのワークショップ「ひょうげんのじゅう」も同時開催します。

2 開催日時

平成30年11月10日（土）午後1時30分から

3 講演会タイトル

「おもしろがると せかいが ひろがる」 ワークショップ「ひょうげんのじゅう」

4 講 師

鈴木 のりたけ さん（絵本作家）

6 募集人員

小学生とその保護者、約30名（10月17日（水）締切・応募多数の場合は抽選）

参考

講師プロフィール

1975年、静岡県浜松市生まれ。グラフィックデザイナーを経て絵本作家となる。「ぼくのトイレ（PHP研究所）で第17回日本絵本賞読者賞、「しごとば 東京スカイツリー（ブロンズ新社）」で第62回小学館児童出版文化賞受賞。

その他「す〜べりだい（PHP研究所）」「おしりをしりたい（小学館）」「とんでもない（アリス館）」など、著書多数。

「しごとば」シリーズでは、スケッチブックとカメラを手に様々な仕事の現場に潜入取材し、独自の視点と遊び心あふれる手法で仕事を切り取った内容は老若男女問わず好評を博している。千葉県在住。2男1女の父。

鈴木のりたけさん講演会！

「おもしろがると

参加
無料

せかいが ひろがる」

ワークショップ「ひょうげんのじゅう」同時開催！



とき: 11月10日(土)
午後1時30分から

しぶかわしりつ としよかん
ところ: 渋川市立図書館

たいしょう しょうがくせい
対象: 小学生30人と

ほごしゃ
その保護者

おうぼ たすう ぼあい ちゅうせん
※応募多数の場合は、抽選

ももの ひっきようく
持ち物: はさみ・のり・筆記用具

のりたけさんの本の
はんばい会・サイン会も
あるよ！



©ブロンズ新社



講師: 鈴木のりたけさん

1975年、静岡県浜松市生まれ。
グラフィックデザイナーを経て絵本作家となる。
『ぼくのトイレ』(PHP研究所)で第17回日本絵本賞
読者賞、『しごとば 東京スカイツリー』(ブロンズ新
社)で第62回小学館児童出版文化賞受賞。
『ぼくのおふろ』(PHP研究所)『おしりをしりたい』
(小学館)『そだてば』(朝日新聞出版)『ねるじか
ん』(アリス館)など著書多数。『しごとば』シリーズ
ではスケッチブックとカメラを手に様々な仕事の現
場に潜入取材し、独自の視点と遊び心あふれる手
法で仕事を切り取った内容は老若男女問わず好
評を博している。千葉県在住。2男1女の父。

☆開場は午後1時からです。

☆サインは、当日会場でお買い求め頂いた
鈴木のりたけさんの著書に限ります。

色紙等不可。

10月17日(水)までに
お申込みください！

お申し込みは…渋川市立図書館

9:30~17:00:月曜休館

①窓口②電話③ホームページ

※携帯・スマホからはこちら→

☎0279-22-0644

http://www.library.shibukawa.gunma.jp/ 16



資料6

担当：市民部市民協働推進課自治活動支援係 倉澤志子
電話0279-22-2463 内線4316

件名：平成30年度渋川市平和推進啓発作文・ポスターコンクール
表彰式及び平和講演会の開催について

1 目的 広く市民に平和の大切さを訴え、平和を愛する心を醸成するため、
作文を市内小学生5、6年生から、ポスターを市内中学生から募集
しているコンクールの表彰式を開催いたします。
また、表彰式にあわせてJICAより講師を招き、平和講演会を開催
いたします。

2 日時 平成30年10月15日（月）午後4時～5時

3 会場 渋川市役所 本庁舎 大会議室

4 内容 第一部 表彰式
入賞者：裏面のとおり
応募者数 作文の部：157名、ポスターの部：231名

第二部 平和講演会

講師：佐藤 祥平(さとう しょうへい) さん
JICA群馬デスク 国際協力推進員

【経歴】

平成27～29年の2年間、青年海外協力隊としてバングラデシュ、
ジンバブエに赴任し、サッカー指導者として、選手への直接指導
や指導者への技術指導を行いました。

帰国後、平成29年2月よりJICA群馬デスクに着任し、群馬県内
において国際協力の普及活動を行っています。

5 その他 平和推進啓発作文・ポスターコンクール入選作品展示会
・渋川市役所 本庁舎 市民ホール
10月9日（火）～16日（火）
・渋川市役所 第2庁舎 あじさいサロン
10月18日（木）～24日（水）

*入賞作品は、渋川市ホームページにも掲載しております。

平成30年度平和推進啓発作文・ポスター コンクール入賞者名簿

◆作文の部

	学校名	学年	氏名	
最優秀賞	渋川北小	6	石坂 智朱	いしざか もあ
優秀賞	渋川北小	5	平形 美海	ひらかた みう
〃	古巻小	6	秋山 瑠南	あきやま るな
〃	橘小	6	森田 愛音	もりた まなね
佳作	古巻小	5	黒岩 咲良	くろいわ さくら
〃	古巻小	5	星野 円香	ほしの まどか
〃	古巻小	6	狩野 伊歩希	かのう いぶき
〃	豊秋小	5	内村 蒼太	うちむら そうた
〃	豊秋小	6	千明 穂乃花	ちぎら ほのか
〃	渋川西小	5	炭本 和奏	すみもと わかな
〃	渋川西小	6	村岡 光美	むらおか みみ
〃	伊香保小	6	田中 輝	たなか ひかる
〃	伊香保小	6	関口 莉乃	せきぐち りの
〃	津久田小	6	狩野 咲歩	かのう さきほ

◆ポスターの部

	学校名	学年	氏名	
最優秀賞	渋川北中	1	齋藤 駿	さいとう しゅん
優秀賞	渋川中	3	澤田 真梨菜	さわだ まりな
〃	渋川北中	3	滝澤 莉舞	たきざわ りぶ
〃	渋川北中	3	橋本 碧海	はしもと あみ
佳作	渋川中	3	押江 みさき	おしえ みさき
〃	渋川中	3	木津 麻結	きづ まゆ
〃	渋川北中	3	高橋 明花	たかはし はるか
〃	渋川北中	3	横山 音花	よこやま おとか
〃	古巻中	3	土橋 遥花	どばし はるか
〃	古巻中	3	奈良 彩加	なら あやか
〃	子持中	3	埴田 礼奈	はにた れな
〃	子持中	3	山本 華鈴	やまもと かりん
〃	赤城北中	1	池田 美乃莉	いけだ みのり
〃	北橋中	3	粕川 留奈	かすかわ るな
〃	北橋中	3	志村 祐奈	しむら ゆうな
〃	北橋中	3	登坂 真伍	とさか しんご

資料7

担当：地域包括支援センター地域支援係 田村陽子 電話0279-22-2179 内線1222

件名：認知症サポーターステップアップ講座の
開催について

1 目的 認知症になっても安心して住み慣れた地域で暮らせるために、地域で見守る応援者である認知症サポーターを対象に更に認知症に対する理解を深め、認知症の人とその家族を支えるための地域での活動のきっかけづくりの場を提供し、地域での活動に結びつけるものです。

2 事業概要 認知症サポーター養成講座を受け、今後の活動を希望している人に対し講義や実習を取り入れた3日間の講座を実施します。

3 日時 平成30年10月19日（金）
平成30年10月25日（木）
平成30年10月31日（水） } 午後1時30分から4時

4 会場 渋川市子持社会体育館（全日程）
渋川市子持ふれあい公園（10月25日のみ）

5 内容

コース	主な内容
1日目	渋川市の状況、認知症の理解、接し方
2日目	声かけの実際（徘徊高齢者への声かけ実習）
3日目	個人情報保護、認知症カフェ、サポーター活動

6 講師 群馬県立県民健康科学大学 看護学部 教授 狩野太郎氏
渋川市地域包括支援センター 職員（認知症地域支援推進員）

7 定員 30名

8 その他 1日目、3日目は講師による講義、グループワークが中心です。
2日目は、徘徊高齢者役に各地域包括支援センター職員が扮し、参加者が実際に声をかける実習を行います。

